

たいけんリスト 各日共通

イベント特設サイト <http://taikenfes2017.peatix.com> 入場パスはこちら!



業種	体験	体験時間(約)
東京くみひも	とうきょうくみひも 体験 ゆびくみひもミサンガ作り	30分
江戸刺繍	えどししゅう 体験 絹糸撚り合わせ	20~30分
東京手描友禅	とうきょうてがきゆうぜん 体験 手描ハンカチ・エコバック・缶パッチの友禅加工	40分
多摩織	たまおり 体験 手織りコースター	20分
江戸つまみ簪	えどつまみかんざし 体験 やってみようつまみ体験	30分
東京染小紋 / 江戸更紗	とうきょうそめこもん / えどさらさ 体験 金彩ランチョンマット	10分
東京無地染	とうきょうむじぞめ 体験 手拭い絞り染	30~45分
東京本染めゆかた	とうきょうほんぞめゆかた 体験 注染手拭い染め	30分
東京彫金	とうきょうちようきん 体験 彫金ストラップ(名入れ)	20分
東京七宝	とうきょうしっぽう 体験 七宝焼き・熱さを感じて!!	30分
江戸象牙	えどぞうげ 実演 アクセサリー製作実演	—
江戸鼈甲	えどべっこう 実演 耳かき・根付けの仕上げ	—
東京銀器	とうきょうぎんぎ 体験 銀製しおり	30分
江戸切子	えどきりこ 体験 切子体験	10分
江戸硝子	えどがらす 展示 江戸硝子展示	—
江戸木目込人形	えどきめこみにんぎょう 体験 木目込絵馬を作ろう	20~30分
東京打刃物	とうきょううちものはもの 実演 はさみの調整・試し切り	—
江戸表具	えどひょうぐ 体験 はがき掛軸(ミニ)	各30分
	体験 からくり屏風(ミニ)	
	体験 からくり屏風(平面ミニ)	
江戸指物	えどさしもの 体験 桧八角箸造り	20分
東京三味線	とうきょうしゃみせん 体験 紅木(黒檀)の箸、飾り台、ペンダントの製作	30~60分
	体験 三味線の皮に絵を描こう	
江戸手描提灯	えどてがきちようちん 体験 ミニ提灯文字描き入れ	40分

注意事項

- ・入場パスをご入手の上お越しください(お持ちでない方は入場にお時間を頂く場合がございます)。
- ・各体験ともご予約不要ですが、材料がなくなり次第終了とさせていただきます。
- ・体験によっては衣服が汚れる場合がございます。エプロン等を御持参ください。
- ・各体験とも材料費がかかります。
- ・混雑時お並びいただく場合がございます。
- ・中学生以下の方は保護者の方とご参加ください。

第34回 伝統的工芸品月間 国民会議 全国大会を東京都で開催

平成29年 11/3(金)~6(月) 伝統的工芸品月間国民会議全国大会を東京都で初めて開催します。全国の伝統工芸品の魅力を丸ごと伝える、子供から大人まで楽しめる体験型イベントです。会場内では作品の販売も行います。

【メイン会場】 東京国際フォーラム (11/4~6)
【サブ会場】 JPタワー KITTE、東京ビルTOKIA、丸ビルにて

お問い合わせ先: 東京都伝統的工芸品月間推進協議会事務局 (産業労働局商工部経営支援課内) TEL: 03-5320-4778 (直通)

歌舞伎座で手仕事を体験!

歌舞伎舞台裏話紹介や落語など、多数イベントを実施します。
平成29年 8/1(火)~3(木) <https://tokyoteshigoto.tokyo/newsevent/kabukizaevent>

東京都伝統工芸士会

東京の伝統工芸品は、長い年月を経て東京の風土と歴史の中で育まれ、時代を超えて受け継がれた伝統的な技術・技法により作られています。伝統工芸品は、手作りの素朴な味わい、親しみやすさ、優れた機能性などが大量生産される画一的な商品に比べて、私たちの生活に豊かさや潤いを与えてくれます。

特に高度な卓越した伝統的技術・技法を有するものに東京都知事から「東京都伝統工芸士」として認定を受けた人達を構成員としています。



東京都伝統工芸品 指定マーク

www.dentoukougei.jp



お問合せ先: 公益財団法人 東京都中小企業振興公社 城東支社内
〒125-0062 東京都葛飾区青戸 7-2-5
TEL: 03-5680-4631 FAX: 03-5680-0710

内容は予告なしに変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

先生は伝統工芸士!

江戸刺繍 絹糸撚り合わせ

東京無地染 手拭い絞り染

江戸指物 切子体験

多摩織 手織りコースター

江戸切子 切子体験

江戸つまみ簪 やってみようつまみ体験

東京くみひも ゆびくみひもミサンガ作り

東京三味線 紅木(黒檀)の箸、飾り台、ペンダント等の製作

江戸手描提灯 ミニ提灯文字描き入れ

東京七宝 七宝焼き熱さを感じて!!

東京彫金 彫金ストラップ(名入れ)

江戸鼈甲 耳かき・根付けの仕上げ

東京銀器 銀製しおり

江戸象牙 アクセサリー製作実演

江戸木目込人形 木目込絵馬を作ろう

東京打刃物 はさみの調整・試し切り

江戸表具 はがき掛軸(ミニ) からくり屏風(ミニ) からくり屏風(平面ミニ)

江戸指物 桧八角箸造り

東京三味線 紅木(黒檀)の箸、飾り台、ペンダントの製作 三味線の皮に絵を描こう

江戸手描提灯 ミニ提灯文字描き入れ

自由研究も!

22業種 45名 希望者全員プレゼント!

自由研究おたすけシート

写真はワークショップの完成品(予定)です

後援: 東京都教育委員会

現代に活かせる伝統工芸士展

イベント特設サイト <http://taikenfes2017.peatix.com>

入場パスはこちら!



保護者様へ

特設サイトでパスをご入手の上お越しください。お持ちでない方は入場にお時間を頂く場合がございます。

たいけんフェス

産業貿易センター台東館 4Fにて

2017 8.22 火 ~ 23 水 A.M. 10:00 ~ P.M. 5:00

主催: 公益財団法人 東京都中小企業振興公社 / 東京都伝統工芸士会



まつりだ まつりだ

工芸の郷 江戸・東京

東京都の伝統工芸品 全40品目

つくろう!はなそう!

東京は江戸から続く工芸の宝庫です。業種はなんと合計40種!普段はなかなか会うことも難しい「伝統工芸士」がこの日は台東館に大集合!この機会にホンモノに触れてください。

東京くみしも

貴族・武士が使う礼服や武具に使われ、江戸時代に小袖の帯締めなど町人に普及しました。

ゆびくみひもミサンガ作り
映画「君の名は。」でも重要なアイテム。両指でクロスしながらくみひもミサンガを作ります。



福田 隆 先生

江戸刺繍

飛鳥の仏教文化に開花し優雅な着物文化・美術工芸として発展。江戸刺繍は空間を活かした構図が特徴です。

絹糸撚り合わせ
何色かの糸を撚り合わせて、虹のような色合いの紐を作ります。



柿崎 秀三 先生 竹内 功 先生 辻口 良保 先生

東京手描友禅

着物や帯への図柄の考案から色挿し・仕上げまで、作者のみで行われるのが特徴です。

手描ハンカチ・エコバック
缶バッジの友禅加工
作品には下書きをしておきますので、その中に色を塗っていただきます。



鎌滝 隆 先生 高橋 孝之 先生

多摩織

桑の都と呼ばれた八王子で作られます。お召織、縮織、風通織、変り綴、綴り織の五つの品種があります。

手織りコースター
絹糸のコースター(小さな敷物)を手織りします。



澤井 伸 先生

江戸つまみ簪

絹地をつまんで文様を作るつまみ簪。つまみ簪を付けた婦人が浮世絵でも登場します。

やってみようつまみ体験
かわいいヘアゴムやヘアクリップ、キーホルダーや小物入れ等を製作します。



穂積 実 先生

江戸更紗

インドの更紗文様が海のシルクロードを渡って江戸更紗になりました。東京の硬水による渋い色が特徴です。

金彩ランチョンマット
金糊を使ってテーブルランチョンマットを作ります。(東京染小紋と合同)



富田 篤 先生 中條 隆一 先生

東京無地染

「江戸紫に京鹿の子」と言われ、紫染は江戸産が最上とされ、江戸庶民に広く愛用されました。

手拭い絞り染
道具類を使用して絞り、染めた後ほどきます。



近藤 良治 先生 西島 正樹 先生

東京本染ゆかた

憩いの場である銭湯で、「粋」を尊ぶ江戸っ子の湯上り用の衣服として発展していきました。

注染手拭い染め体験
世界でも類をみない染色技法の「注染」で手拭いを染めていきます。



村井 光寿 先生

東京彫金

タガネひとつで丹念に様々な模様を彫り、独特な着色方法で仕上げられます。

彫金ストラップ(名入れ)
金づちとタガネを使って、イニシャルなどを点で打ちます。



中島 一華 先生

右も左も伝統工芸士

東京七宝

東京七宝の祖である平田彦四朗は幕府お抱えの七宝師として名作を残し、その技は門外不出でした。

七宝焼き・熱さを感じて!!
七宝釉薬を盛り、フリットを乗せ焼成します。

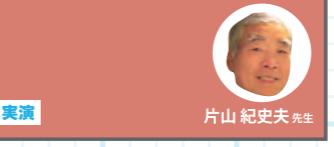


坂森 登 先生 島山 弘 先生

江戸象牙

発祥は古代エジプト。奈良時代に中国から日本に伝来。象の牙から細密で美しい工芸品を彫り出します。

アクセサリー製作実演
手を切ることがあるので体験は出来ません。実演のみになります。



片山 紀史夫 先生

江戸鼈甲

亀の一種、タイマイの甲羅で和装品や装飾品を作製します。深い光沢と肌触りがあります。

耳かき・根付けの仕上げ
伝統的な手作りの技による、耳かき・根付けの最終工程をお見せします。



矢吹 寛 先生

東京銀器

銀(しろがね)師と呼ばれた銀器職人や飾り職人が礎を築き、今でも東京は銀製品の主要産地です。

銀製しおり
銀板を金づちで文様打込み。重曹磨きで光沢出しなどし、リボンを飾ります。



笠原 信雄 先生 福土 豊二 先生

村山大島織 むらやまおしまつむぎ
縦や横に筋を現した「縞」、所々かすったような模様の「緋」が特徴です。

本場黄八丈ほんばきはちじょう
八丈島の草木による天然染料から生まれた「黄・樺・黒」の三色を主体とする「染め」と「織り」が特徴。

江戸漆器 えどしっき
私たちの暮らしの中で、古くから使われ続けてきた漆器。漆塗りのお椀や重箱などが代表です。

江戸刷毛 えどはけ
人毛や馬、鹿、山羊などの獣毛やシュロなどの食物繊維を使って作られます。

東京仏壇とうきょうぶつだん
江戸の指物師が、桑や樺、黒檀、紫檀など堅い木から作りだした、淡泊ながらも優美な仏壇。

東京額縁とうきょうがくぶち
画家が精根傾けて描いた作品を、額で飾ることで一層引き立たせます。

江戸簾 えどすだれ
江戸簾の特色は、竹、萩、御業、蒲、よし、などの天然素材の味わいをそのまま生かして作られます。

江戸和竿 えどわさお
何本かの異なる竹(布袋竹、矢竹、淡竹、真竹)を継ぎ合わせ、一本にした「継竿」の釣竿です。

江戸衣裳着人形 えどいしやうぎにんぎょう
わらなどの胴体に顔や手足を付け、衣裳を着せつけるもので、百以上の工程を、丹念に仕上げられています。

今回出展の工芸品 22品目

江戸表具

町人に茶道が普及し、掛け軸などの需要が増え江戸表具は発展しました。

はがき掛軸(≠)からくり屏風(≠/平面≠)
組立寸法カット加工した色々な紙を貼り合わせて手作り仕上げます。



香原 敏雄 先生 田中 武久 先生 田中正 武 先生 古牧 平市 先生 我妻 雅之 先生 石井 弘秀 先生 櫻井 源 先生 清水 達也 先生

江戸指物

木の美しさを活かし、釘を使わずに、見えない所にも技を施し、極めて堅牢に作られます。

桧八角箸作り
四角く作られた桧の箸を八角に仕上げます。



佐藤 進 先生 渡辺 光 先生

東京三味線

江戸時代初期に歌舞伎の長唄・義太夫などの邦楽の流行とともに三味線も発展しました。

紅木(黒檀)の箸
飾り台、ペンダント等の製作
三味線の材料、水に沈む木「紅木」を磨いてつやを出し作品を作ります。



伊東 孝夫 先生 高橋 定裕 先生 向山 正成 先生

江戸手描提灯

特徴のある提灯文字は「江戸文字」と言われ、神社仏閣に貼る千社札は提灯屋が描いていました。

ミ=提灯文字書き入れ
ミ二提灯に文字を描き入れます。



前森 宏之 先生 村田 修一 先生

江戸押絵羽子板
厚紙等の台紙に布を貼る、布に綿をくるんだ部品を組合わせて立体的にする「押絵」で作られた羽子板です。

江戸甲冑
武家社会の中で発展してきたので装飾的要素の強い京甲冑に対して洗練された重厚な力強さが特徴。

東京籐工芸
籐は引っ張る力に対して非常に強く、またしなやかなので、竹にはできない「巻く」「結ぶ」加工が得意です。

江戸木彫刻
仏教と共に伝来し、寺院装飾などに見られます。木から命を彫り出します。

江戸筆
筆の穂先には山羊毛・馬毛・豚毛・たぬき毛・いたち毛・猫毛などが使われます。

東京琴
室町時代末期に始まり、数々の改良を重ねて東京琴に至りました。桐、紅木、紫檀などが使われます。

江戸からかみ
襦や屏風などに貼られる和紙です。木版摺りを元に、型紙による捺染や刷毛引き等多くの技法で作られます。

江戸木版画
絵師が原画を和紙に墨一色で描き、彫師が原画を貼った板に小刀で彫り、摺師がばれんでこすって仕上げます。

東京手植ブラシ
引き線と呼ばれるステンレス線により連続して植毛されているため、機械植えに比べてとても丈夫です。

出展者以外の東京都の工芸品 18品目

出展者以外の東京都の工芸品 18品目

出展者以外の東京都の工芸品 18品目